

第 1 回教育委員会臨時会会議録

令和元年 8 月 6 日（火）

場 所：国立市役所 第 1・第 2 会議室

出席委員	教 育 長	是 松 昭 一
	教 育 長 職 務 代 理 者	山 口 直 樹
	委 員	嵐 山 光三郎
	委 員	猪 熊 緑
	委 員	操 木 豊
出席職員	教 育 次 長	宮 崎 宏 一
	教 育 総 務 課 長	高 橋 昇
	教 育 指 導 支 援 課 長	三 浦 利 信
	指 導 担 当 課 長	荒 西 岳 広
	指 導 主 事	武 内 陽 子
	指 導 主 事	小 島 章 宏

国立市教育委員会

付議案件

区分	件名	
報告事項	1)教科用図書の採択に関する要望書について(2件)	
議案第45号	令和2年度使用国立市立小学校教科用図書の採択について	
議案第46号	令和2年度使用国立市立中学校教科用図書の採択について	
議案第47号	令和2年度使用国立市特別支援学級教科用図書の採択について	

○【是松教育長】 皆さん、こんにちは。暦の上でそろそろ立秋という声も聞かれ始めておりますけれどもまだまだ盛夏という名前がぴったりの季節でございます。きょうは暑いお越しいただきましてありがとうございます。それではこれから令和元年第1回教育委員会臨時会を開催いたします。きょうの会議録署名委員を嵐山委員にお願いいたします。よろしいでしょうか。

○【嵐山委員】 はい。

○【是松教育長】 ありがとうございます。



○議題（1） 報告事項1）「教科用図書の採択に関する要望書について」

○【是松教育長】 それでは審議に入ります。最初に報告事項1）「教科用図書の採択に関する要望書について」を議題といたします。

高橋教育総務課長。

○【高橋教育総務課長】 要望は2件です。子どもたちが主権者の社会科教育を求める会より、小学校教科書調査研究資料に関する要望書、国立市の教科書採択を考える会より、小学校教科書採択についての要望書をいただいております。以上です。

○【是松教育長】 要望書は2件いただいております。要望書の取り扱いについてでございますけれども、教科書採択は、国立市立学校教科用図書採択要綱に基づき設置した教科用図書審議会の審議報告を軸に、他のさまざまな研究資料やあるいは保護者や市民の方々のご意見を参考として国立市教育委員会の権限と責任のもと、公平、公正、中立的立場で行ってまいります。送付されてきました東京都教育委員会の教科書調査研究資料についても、その一資料となるところでございます。これからの採択審議に先立ちましてさまざまなご要望について直接コメントすることは差し控えさせていただいておりますので、各委員において、審議の参考としていただきたいと思います。同様にその一資料となる東京都教育委員会の教科書調査研究資料についても、その要望内容に関するコメントは他の要望同様、差し控え、参考とさせていただくということでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○【是松教育長】 ではそういう取り扱いといたします。なお、一参考資料でございます、東京都教育委員会の教科書調査研究資料について、当市教育委員会が要望者の主張に基づいて、東京都教育委員会を叱責あるいは指導するというようなことは行いませんので、申し伝えておきます。



○議題（2） 審議事項1）議案第45号「令和2年度使用国立市立小学校教科用図書の採択について」

○【是松教育長】 それでは議案第45号「令和2年度使用国立市立小学校教科用図書の採択について」を議題といたします。最初に事務局から説明をお願いいたします。三浦教育指導支援課長お願いします。

○【三浦教育指導支援課長】 それでは議案第45号「令和2年度使用国立市立小学校教科用図書の採択について」ご説明いたします。地方行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項に基づき、国立市立小学校で令和2年度から令和5年度の4年間使用いたします、各教科の教科用図書につきまして、採択いただくこととなります。国立市学校教科用図書採択要綱に基づき設置されました審議会の調査結果につきましては、先に開催されました7月23日の定例教育委員会において、机上に配付しました資料のとおり、教科用図書審議会委員長から報告をさ

せていただいております。また6月14日から7月12日までくにたち中央図書館及び国立市公民館において、教科用図書展示会を実施いたしました。市民等の皆様から22件のご意見をいただき、7月の定例教育委員会において資料として配付をさせていただいております。

説明は以上となります。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○【是松教育長】 ただいま教育指導支援課長から説明をしていただきました。それでは早速審議に入りたいと思います。7月23日開催の定例教育委員会で、教科用図書審議会から審議結果の報告を受けたところでございます。各教育委員におかれましては審議結果やあるいはアンケートをもとに、国立市の公立小学校にふさわしい教科用図書についてのお考えを深めていただいているということかと思っております。

それでは各教科ごとにご意見をいただきながら令和2年度使用小学校教科用図書についての採択をしていきたいと思っております。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○【是松教育長】 それでは、最初に国語からご意見を伺いたいと思っております。どなたかお願いいたします。山口委員、お願いします。

○【山口委員】 マイクを使わせていただきます、山口です。初めに教科書採択に当たって、基本的なことをちょっと考えたものですから、それだけ簡単に述べさせていただきたいと思うのです。1つ大切にしたいなと思ったのは、子どもたちがワクワク感を持てるのかな、教科書を使って。そういうことはどうかということと、あともう一方、審議会のところであらわれてきていると思うのですけれども、現場の先生方の声というのを大切にしていきたいなと。この2つのポイントを見ていきたい。その中で私自身は、子どもたちが生きることの幸せを感じることができるようになってほしいなという願いが、根本としてあるものですから、それをベースに見ていくことと、ほぼ共通するのですけれども、国立市自身が基本的な市としての考え方、国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例というのをつくりまして、その中にさまざまな事柄が含まれているわけですが、そういうところの考え方を参考にしながらいきたいと。当然ですが、先ほど出ました展示会のアンケート等、皆様方のご意見も参考にしていきたいなというところをベースとしては思っているところでございます。

国語に関してですけれども、国語に関しては、国語ですから、読んだり、書いたり、聞いたり、話したりということになると思うのですけれども、その中のベースとなるいい教材が載っているのかな。これは私なりに思うところですが、読み応えといいますか、その学年相応の、年齢相応のものが載っているのだろうか。それから丁寧に書かれているのかなというバランス的なこと。当然ですが、最初言ったところの、平和とか人権とか日本の文化のこともきちんと伝えようとしているのかどうか、そんなことを考えて見させていただきました。

ことは4つの教科書会社さんから出されておりますけれども、全部の教科書とも工夫されて、充実した内容となっているというのが全般的な感想でございます。その中で特に私自身がいいなと思ったのは、光村図書さんのものがしっかりと文を読ませるような内容であるということ。最初に、国語の学びを見わたそうということで、学ぶ見通しが述べられている部分。それから、季節の言葉が各学年のところに入っていたと思うのですけれども、そういうことが書いてあるのが、日本の季節というのをもし感じ取ることによっていいのかなと思います。

審議会からの報告にもあったのですが、今も使っている教科書でありますけれども、バランスがとれていて使いやすさ、安定感があるというようなことは出てきているかなと思います。あと1年生の教科書も、入りやすい雰囲気が漂っているなど、これは私なりの感じ方なのですが、1年生が国語の

授業に入っていくやすい部分があるのかなと思います。そういうことで光村さんを推薦したいと思っています。以上でございます。

○【是松教育長】 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

猪熊委員、お願いします。

○【猪熊委員】 国語に限らず、今回の教科書はQRコードとかあと「学びリンク」みたいなのが各会社、全ての教科についていまして、そういうものを利用していくのに、国立市内の小学校8校に各80台ずつタブレットも配置しているということだったので、そういうのも利用できるのかなということを思いまして、そのあたりも見ながら選ばせていただきました。

国語に関しては、やはり光村さんのものが、長く親しまれているというところからも、掲載されている文が、子どもたちにもわかりやすいというのも変ですけれども、子どもたちにとっていいものなのではないかなというところを思いました。

あとは最近の課題というか、情報の使い方の指導なども非常に充実していて、これからの子どもたちには大切なことかなと思いましたので、いい取り組みだなと思いました。

そして冒頭に、1学年とか2学年とか、何年生で学習することということがまとめられていてわかりやすいですし、さらにその下に前の学年の学びを確かめようということも書かれているので、振り返りながらこの学年で何を勉強していくのだなということが最初のページのところでわかるので、とても入りやすいかなと思いました。

あとは教育出版さんの本なんかですと、1年生や2年生の進度がややゆっくりかなという印象を受けまして、1年生の教科書に関しては工夫を感じましたので、低学年の部分ではそちらもいいかなとは思ったのですが、全体で見ると光村さんのものもいいかなと思いました。QRコードで落語とかも聞けるようになっていたので、いろいろ教材として使えるのかなと思いました。以上です。

○【是松教育長】 ありがとうございます。ほかの委員さんいかがでしょうか。嵐山委員お願いします。

○【嵐山委員】 僕は2ついいと思って、教育出版と光村図書、この2つがいいかなと思っていたのですが、教育出版のいいのはタイトルの文字が大きく目立っていたり、それから1年生の授業は文字を大きく書いていたり、学習に入りやすいという、とてもよくできている教科書だと思いました。

光村図書は今まで話にあったように、学習の進め方、書く、話す、聞く単元。それから学習の進め方だったり、見通しが持ちやすいという状態がありました。

どちらがいいかと考えたのですが、現場の先生方の意見が、光村がいいというのは意見がありましたので、私も総合的な結論として光村図書がいいと判断しました。

○【是松教育長】 ありがとうございます。それでは繰木委員お願いします。

○【繰木委員】 教科書、全ての出版社のを見せていただいて、本当に子どもたちの学びのこと、それから指導する立場、学校のことをよく考えてつくられた教科書だなと全般的に思いました。

国語に関して、例えば学校図書株式会社ですと、みずから学ぶ意欲を大切にするという出版の意図が反映されていて、何をどのように、何ができるようになるかということ子どもたちがみずから進んで学習に取り組めるような、そんな工夫を感じました。また説明文を読んで、先人の知恵を生かした日本の建設技術とか世界中とつながるネット環境の現状を知って、これからの国際社会の発展に寄与する、そういった態度を国語科を通して養える、そんな工夫も感じました。

また教育出版株式会社ですけれども、こちらは子どもと教師がつくり上げる授業ということをすごく意識された教科書だと感じました。読むこと、その教材については「単元とびら」というのが設けられてい

まして、その単元とびらの中で目標、それから振り返りといったものが連動してあって、子どもたちの意識が高まりながらの授業を進めることに使える教科書かなと感じました。また紹介図書が480冊以上あるということで、これもすごく魅力を感じました。あと地域の防災、今、防災法とかありますけれども、この防災について話し合っ、それを発表するとか書くとか、そういったところにつながる。それも国語にとって大事なそういった視点を捉えている教科書だなということも感じました。

光村図書出版株式会社につきましては、子どもたちが自分の言葉を育んでいけるような、そんな出版社の思いを感じました。学びが見える、学びを支える、学びにつながるというような表現が、出版社のほうもありましたけれども、そういった工夫を、構成や教材の工夫を感じました。

審議会の審議結果等も受けまして、最終的には私としても光村図書を推薦したいと思いました。以上でございます。

○【是松教育長】 ありがとうございます。私のほうからも少し感想と推薦教科書を述べさせていただきますと思います。

国語は話す、聞く、書く、読むことの習得によって考え、表現し、伝える言語コミュニケーション能力の基礎であるとともに、あわせて文章や詩歌の鑑賞に通じた感性の広がりをもたらす教科だと思っています。皆さんからいろいろご意見出ましたけれども、私も光村図書は文字組みや構成、それから図や写真のレイアウトに落ちつきがあり、しっとりとした国語教科書であるなと思いました。特に巻末漢字表が大変見やすいこと、それから詩歌の内容も大変豊富でありました。また特にすばらしいと思ったのが、5年生に点字だけではなくて、光村図書だけが手話の説明と、図表が掲載されているのが非常に好感を持たるところです。こうしたことから、私も光村図書を採択したいと思います。

以上で全ての委員さんからご意見いただきました。各委員さん、光村図書を推されております。

国語については光村図書を採択するというにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○【是松教育長】 それでは国語は、光村図書を採択することといたします。

それでは続いて、書写に移ります。書写についてご意見等ございましたらよろしく願いいたします。

山口委員。

○【山口委員】 書写も5つの会社さんが出されております。書くということに興味を持って入っていいのか、特に低学年の子ども。それからあと、筆に関しても書く姿勢ですね。筆も含めてですけども、きちんと押さえている。これを全部の教科書会社さんがしっかりと、繰り返し繰り返し出されていていいなと思ったところでございます。光村図書さんと教育出版さんの2つが、その中でいいかなと思って見させていただいて、その中で見て、光村図書さんのほうが学習の進め方等がわかりやすく、そちらのほう子どもたちも入っていきやすいのかなということで思っております。

どちらでもいいのですけれども、できれば光村さんがいいのかなということが、私としては感じているところでございます。以上です。

○【是松教育長】 ほかにいかがでしょう。では、嵐山委員お願いします

○【嵐山委員】 やっぱ国語は光村ですね。いろいろな意見のあるところだと思いますけれども、書写もそれにあわせて、光村のものを、光村図書を入れていくのが妥当だと考えます。

○【是松教育長】 ほかにいかがですか。

では、練木委員。

○【練木委員】 審議会の報告にもありまして、今も出ましたけれども、国語と書写の教科書の構成とか

系統性を考えると、同一社にこだわることなく、書写は書写で考えるという、私はそういう立場でもって書写の教科書を見させていただきました。

そうした中で学校図書株式会社のほう、書写力の定着にはやっぱり繰り返しが大切だということで繰り返し書くということ、繰り返し理解するということが内容の中に組み込まれているということ。それから全ての学年の中に平仮名や片仮名の表とか、それから日常と関連したはがき、原稿用紙、手紙の書き方、これは3年から6年までなのですけれども、そういったこと。また読みやすく書くという4年から6年に入っていますけれども、それから各社でも取り上げています水書用紙の扱いですね。そういったことに魅力を感じました。それから書き初めの「夢の実現」の中で、コメントとして6年生で学習したことを生かして書き初めをしようということで、小学校のまとめの中に書き初めを位置づけているということも魅力を感じました。

教育出版株式会社さんのほうですけれども、適切に運筆する能力を高める、やはりこちらのほう水書用紙を、どこの会社もタイアップしているのですけれども、何回も使えるというようなそういう魅力もあったりとか、水書のほうに力を入れているということも感じました。それからあと、ほかにないところの作業療法士の方をまねて姿勢をよく書くということ。そういったことについて持ち方、姿勢についてすごく力を入れているところを感じました。やはり書き初めについては伝統を守る、学習したことを生かして書くということ、ここに点画の筆使いとか文字の組み立てとか、大きさ、配列、そういった学習を振り返った仕上げをするという意図も感じました。

あと光村図書ですけれども、学習の流れがすごくわかる紙面、それから大きな教材文字、学びやすい、教えやすい教科書というふうなことで、いいところもありますけれども、それを感じました。新学習指導要領の中の点画の書き方に対応して1年の巻末には水書シートがついている、これもほかと一緒にですね。それから、書き初めでは「将来の夢」という字を書いてもらうということですが、これもやはり学習の振り返りを入れているということで、それぞれのよさを感じました。

その中で、審議会の審議結果を尊重してといたしますか、意図を汲みまして書写、光村図書を私は推薦をしたいと思います。以上です。

○【是松教育長】 それでは猪熊委員お願いします。

○【猪熊委員】 私も光村図書のもので、特に6年生の書写ブックが、1年生から6年生までに学習したことを日常の中で生かそうというものが、中に挟まっている感じについています。それがとてもいいかなと思いました。あと全体的にシンプルで、書写ということに向かっている感じがして、光村さんのものもいいかなと思いました。以上です。

○【是松教育長】 書写は硬筆指導と毛筆指導を行っていくわけですので、わかりやすく見やすい、適切な硬筆と毛筆技術の手本やガイド本としての教科書がやはり望ましいと思います。点画の書き方、文字の組み立て、配列の取り上げがバランスよくとれていること。3年生から始まる毛筆の筆使いが詳しく説明されていることなどから、私も光村図書を採択をしたいと思います。

それでは皆さん、光村図書の採択ということで一致しておりますので、書写については光村図書を採択することでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○【是松教育長】 それでは書写は光村図書を採択することといたします。

続いて社会についてお願いいたします。どなたか。

山口委員、お願いします。

○【山口委員】 社会は3つの会社さんが出していただいております。見させていただいて、多少の違いはそれぞれあるのですけれども、全体的に大きな流れの違いはないのかなというようなことは感じたところでございます。それで1つはさまざまな事柄が起こって、それをどういうふうに疑問に思って、どうなのだろうかと考えていくような問題解決型の学習を進めていくことも1つポイントだと思ひまして、そこら辺は教育出版とか東京書籍さん、両方ともしっかり考えられているなということをおもいました。

ただその中で、6年生の教科書が東京書籍さんは2つに分かれておひまして、教育出版さんは1冊になっている。私はどちらかというとな冊のほうがいいのかなというような感覚を持ちまして、これはわからないのですけれども、今、そういう部分は思ったところですよ。

それからその中で教育出版さんのほうに、これは地域柄もあるのですけれども、五日市憲法のことが載っていた、前もそうなのですよけれども、これはやっぱりその時代にこういうことが考えられていたというのは大きいことですよ、心に刻んでほしいなという思いがあります。それからSDGsですよけれども、さまざまな問題が起こっているところに持続可能な社会を考えていったりとか、そこに国際労力の問題、今本当にさまざまなことから、まさに現時点で起こっているわけですよけれども、そのことをしっかり考える基礎的なことというのをお書かされているかなと思います。特に6年生の最後の部分に、平和とか環境、人権のことがしっかりまとめて書いてあるのは見やすい部分で、時期に合っているのかなということをお考えまして、教育出版さんの教科書を推薦したいと思ひております。以上ですよ。

○【是松教育長】 ほかの委員さんはいかがですか。

猪熊委員。

○【猪熊委員】 私は教育出版さんの本の場合は、3年生の始まりが生活科からの流れで、始めやすい感じがあるかなと思ひました。あと教育出版さんは全ての学年が1冊にまとめられていて、6年生では歴史が入ってくるのですが、その歴史の単元へのつながりの部分が、政治単元から歴史単元につなぐ内容のページがあつて、子どもたちも歴史に入りやすいのかなという感じがしました。あとは写真がすごく印象的なものが多くて、5年生のところで岩手県の津波被害が、1933年の写真と2011年の写真が一緒に載っていて、結構感じるものがあるなと思ひました。あと東日本大震災のときに、中学生が小学生の手をつないで避難している写真が、教科書に掲載されるなんてすごいなと思ひました。こういったことも子どもたちの学習につながるのかなという感じがいたしました。

あとは、東京書籍さんの4年生の「自然災害から暮らしを守る」というところはとても詳しく載っていて、いいかなと思ひました。そして縄文と弥生の大きな図や年表もとても細かくて見やすいかなと思ひました。

日本文教出版さんは3年生のスタートとして「社会科の学習へようこそ」というのがわかりやすく、社会科への入り口としていいかなと思ひました。

でも全般的に見ると教育出版さんを推薦したいと思ひます。以上ですよ。

○【繰木委員】 東京書籍株式会社さんですよけれども、要するに一目でわかる囲みですよ。見方、考え方、働かせて問題解決型学習を進めることができるというような教科書ということを感じました。使う、調べる、まとめる、生かすという学習段階をたどっていくという教科書ですよ。それから「情報を生かして発展する産業」という単元の中で、子どもたちに身近なコンビニエンスストアを取り上げたということも工夫されているなと感じました。

それから教育出版株式会社のほうですよけれども、やっぱり学びのストーリーというのですかね。1年間をつなげていくという、そういったことが学習意欲を高める、そういったよさを感じました。それからち

よっと出ましたけれども、やっぱり3年生で初めて社会科を学ぶのですけれども、生活科から社会科に接続されるそのあたりがすごく重視されている、丁寧に扱っているということ。それから最初はつかみ方とか調べ方とかというものを丁寧に教えながら、最終的には学年が上がるにつれて、今度は自分たちで問題解決学習を積極的に進められていくような、そういった流れになっているということを感じました。

また審議会の審議結果の報告等も交えまして、全体を通して教育出版株式会社を推薦したいと思います。以上です。

○【是松教育長】 では嵐山委員、お願いします。

○【嵐山委員】 東京書籍と教育出版、どっちがいいのかなといういろいろ見比べたのですけれども、両方ともそれぞれいいのですよね。東京書籍はつかむ、調べる、まとめるという問題解決型の内容が具体的に示してあるところが、使いやすいですね。調べるといった学習過程を強調しているところが魅力的で。

それからもう1つの教育出版は、字体も見やすいしわかりやすいし、たしかこれ現行、今使っているやつ、現行ですか、これは。だからどっちがいいのかなと、ほかの意見、ほかの方がいいというのがいいということで、それぞれ甲乙つけがたいという、私はそういう感じで思っております。以上です。

○【是松教育長】 ありがとうございます。社会は地域や国土の地理的環境、それから現代社会の仕組みや働き、地域や国の歴史、文化、伝統についてできるだけ多くの資料や多様な情報をもとに多角的に考え、課題の把握と解決に向けてのかかわり方を選択・判断できる力を養うという教科だと思います。

今回出版社3社のうち3年生の「まちと市」は東京書籍が福岡市、それから日本文教出版が姫路市、教育出版が横浜市を取り上げています。私はどちらかということ子どもたちに地域的になじみの深いのは横浜市ではないのかなと思います。同じく3年生の「働く人」の紹介分野ですけれども、東京書籍が農家と工場とお店のみ、日本文教出版は工場、農家、お店に漁業が加わっています。教育出版は工場、農家、お店のほか交番、駅、消防、郵便、地区センターなど公共機関が幅広く掲載されています。それから社会的事象の取り扱いにおいては5年生の「我が国の領土と領土問題」については教育出版が2ページにわたり詳しく表記しているところでございます。6年生の歴史に関しては、構成、写真、イラスト割りつけが、教育出版が最もよく割りつけがされていて、見やすく読みやすいものとなっていると感じました。

よって私は、社会は教育出版を採択したいと思います。

それでは嵐山委員が東京書籍、教育出版どちらでもというご意見でしたが、ほかの委員さんは教育出版を推されておりますので、社会については教育出版を採択するということによろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○【是松教育長】 それで社会は教育出版を採択することといたします。

続いて地図に移ります。地図についてご意見願います。

繰木委員。

○【繰木委員】 東京書籍株式会社さんの地図ですけれども、地図帳は3年生から6年生まで4学年が使うということで、その4学年の子どもたちの立場で全体を見たときに、東京書籍さんの場合は3年生に地図の仕組みとか約束がよくわかるように、またページいっぱいの大サイズの鳥瞰図を使ったりとか、そういったことでも導入にしやすい、そういう地図かなと感じました。

帝国書院さんのほうですけれども、こちらでもユニバーサルデザインに配慮していたりとか、またいろいろな工夫もあるので、やはりこれから6年生終わって、中学校に行って社会科を学び続けるわけですけれども、この中学校のほうにつながっていく、そういった仕様で考えると、2つの違いがあるかなと思いました。

それぞれのよさがあるのですけれども、審議会の審議結果の報告も交えて考えますと、地図の場合には帝国書院さんがいいのではないかなと私は思います。以上です。

○【是松教育長】 ほかにいかがでしょう。

猪熊委員お願いします。

○【猪熊委員】 東京書籍さんのほうはとてもなじみやすい感じがして、今度から3年生から地図帳を使うということで、わかりやすいかなという感じがとてもしました。

帝国書院のほうは、色合いとかいわゆる大人の地図的な感じで見ていても、疲れない感じがしていました。3年生からの導入というところでなじみやすいほうもとも思いますが、4年間使え、6年生まで使うということを思うと、帝国書院さんのほうがいいかなという感じがいたしました。

○【是松教育長】 ありがとうございます。

嵐山委員お願いします。

○【嵐山委員】 地図といえば帝国書院。これはもう前から頭に刷り込まれているわけですがけれども、東京書籍のほうはどうなのかなと比べてみたら、やはり帝国書院に比べると見にくいところがちょっとありましたね。

○【是松教育長】 山口委員。

○【山口委員】 地図帳はもちろん社会科で活用していく部分が多いと思うのですけれども、ほかの教科でもいろいろ使っていくチャンスが多分あるのではないかなと思って、そういう資料といいますか、ベースになるような材料がたくさんあるのいいのかなということは思います。両社ともいろいろ工夫されているのですけれどもやはりそういう部分で見ても帝国さんのほうが使いやすいという印象をどうしても持ってしまうところがあります。先生方も使いやすいという印象を持たれていると思いますので、帝国書院さんのほうを推奨いたします。以上です。

○【是松教育長】 私も帝国書院です。簡略記載地図と詳細地図の2つが掲載されておりまして、3年生からそれぞれの発達段階に応じて、地図へなじみやすいように配慮されているというところ。それから東京書籍のほうは東京の詳細が都心部しかないのですが、帝国書院は多摩地域まで記載されておりまして、多摩地域と23区その周りの関東地域の位置関係が非常に子どもたちによくわかるということになっておりますので、こうした点からも帝国書院がよいと思いました。

それでは皆さん、地図は帝国書院を採択するというので一致しております。帝国書院を地図で採択することでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○【是松教育長】 それで地図は帝国書院を採択することといたします。

続いて算数に移ります。よろしく願います。

山口委員。

○【山口委員】 算数は、今回見させていただいたのは6社でございます。前回も同様だったかと思えます。6社全部見させていただいたその中でいいなと感じたのは東京書籍さん、学校図書さん、教育出版さんです。算数に関しては、私自身で考えているのは、やっぱりわかりにくくなるタイミングがあるのかな。これは先生方が一番よくわかっていらっしゃると思うのですけれども、そのところで理解を深めさせられるような工夫がなされているか、これは教え方にもよる部分もあると思うのですけれども。それからわからないところにもう1回戻って学ぶようなことがスムーズにできるとやりやすいのかなと。

もう一方ではパッとわかってしまう子たちに関しても、惹きつけられる内容のものも用意されているの

かなというようなこと等々少し考える。それからあとは、これはその後の応用になると思うのですけれども、実際の生活への活用ができていくのかどうかというのもポイントになってくるかなと思います。

教育出版さんは全般的に、キャラクターとかがなじみやすく、親しみやすい部分で丁寧で、子どもたちが興味を持って入っていけるような内容が全般漂っているような。

学校図書さんは一回り教科書が大きいので、書き込みやすかったりする利点もあるのですね。ただ、大きい部分の弊害もまたあるのかなと思いました。

東京書籍さんはキャラクターもあるので、これが大き過ぎず見やすい部分があるので、使いやすいのではないかなということと、1年生だけ教科書が大きかったということは少し工夫されたなと思って、ここら辺は入りやすい部分があるかなと思いますので。1年生のスタートのところの工夫もされていて、あとまとめの問題等々もしっかりあって、いろいろな子に対応できるようなこともつくられたりとか、マイノートという、ノートのとり方みたいなのも丁寧に書いてあるので、使いやすいのではないかなと思ひまして、3つ甲乙つけがたい部分もあるのですけれども、その中では東京書籍さんを推薦したいと思ひます。

○【是松教育長】 ほかの委員さんいかがですか。

では練木委員。

○【練木委員】 東京書籍さんですけれども、いわゆる考えることが楽しくなるというような、そういったような構成を感じました。それから編集の意図的なことなのでしょうけれども、やっぱり算数は算数で終わるわけではなくて数学につながっていくわけですので、そういった数学的な見方、考え方、そういうものに発展させていく、未来につながる力を育成していこうという、そういう意図を全体的に感じました。考えることを楽しむ、そんな教科書だなと感じました。

学校図書株式会社さんですけれども、生活場面から課題を提示しているところですね。それを数理的に思考していく学習過程、そういったところを実感できる、そんな教科書だったなと感じました。

それから教育出版株式会社さんですけれども、いわゆる子どもの問いというものをすごく大事にしている。ですからこれもなじみやすい、入りやすいというところを身近に感じるということで、3社ともどの教科書もいろいろ工夫されているなと感じました。

そう感じたことと、それから審議会との考え方をあわせて算数につきましては、私は東京書籍株式会社さんを推薦したいと思ひます。

○【是松教育長】 猪熊委員。

○【猪熊委員】 私は算数では東京書籍さんと学校図書さん、教育出版さんが中でもいいかなと思ひながら見させていただきました。

教育出版さんでは4年生の下のほうの教科書で、小数の引き算が大きく書かれていたり、補助数字がしっかり入っていて、見やすい感じもありました。あと、先ほど練木委員もおっしゃっていましたが、算数は中学において数学になっていくというところで、学校図書さんでは「中学校へのかけ橋」が別冊になっていて、中学生になろうという気持ちが詰まっている感じがしていました。

東京書籍さんでは、やはり6年生の教科書に「中学校では何々する」という記述があって、中学校へのかけ橋になっているなというところを感じましたし、算数卒業旅行というのもとても楽しく、6年間の算数のまとめのような感じでいいかなと思ひました。そして1年生の上の教科書だけが大きいのですけれども、数の書き方とか成り立ちがすごくわかりやすい感じだったので、大きいだけのことはあるなという感じがいたしました。

こうしてトータルして見ると、東京書籍さんを推薦しようかなと思います。以上です。

○【是松教育長】 嵐山委員お願いします。

○【嵐山委員】 東京書籍がいいと思います。

○【是松教育長】 算数ですけれども、数量や図形に関する基礎、基本概念や性質を理解させ、数理的処理の技能を身につけさせることを目指して指導するというところに、新学習指導要領でもなっておりますが、私はまず何より子どもたちに数学的活動の楽しさ、おもしろさを気づかせるということが大切だと思っています。そしてできるだけつまずきや苦手感覚を起こさせないようにすることも必要と思っております。各委員のご意見、あるいは審議会の意見としては、そうした中で東京書籍、学校図書、教育出版の3社が有力な候補というような位置づけだったように思います。

学校図書ですが、ちょっと練習問題の掲載が多過ぎるのかなと思います。それからサイズが一番大きいということで、ちょっと圧迫感を感じます。

教育出版はプログラミング教材が少し少ないというところが難ですかね。

それから東京書籍ですけれども、猪熊委員もおっしゃっていましたが1年生の算数の扉がA4で大きいサイズとなっていますけれども、1年生が算数問題に親しむには、1年生はこのぐらいでもいいのかなと思います。全体的に東京書籍は学習したことを生活や学習に活用する教材が豊富で、絵や写真も多く割り振られていて、親しみやすい算数教科書となっていると思いますので私も東京書籍でよいと思います。

それでは皆さん、算数については東京書籍を推薦されましたので、算数は東京書籍採択ということでしょうか。

(「はい」の声あり)

○【是松教育長】 それで算数は東京書籍を採択することといたします。

次に理科に移ります。理科についてご意見を伺いたいと思います。

山口委員お願いします。

○【山口委員】 理科は、こちらのほうで見させていただいたのは5社になります。理科は国立市でもずっと推奨してやっております問題解決型の授業をずっと研究課題としておりまして、その流れがどうなっているのかな、使いやすいのかなということと、もう一方では理科は実験がつきものになってくる中で、そこでの安全面についてどういうふうきちんと取り扱われているのかと。もう一方で自然と親しむようなこととか。それらを通じて理科の楽しさみたいな感じられるような教科書であってほしいなということを、私なりにポイントとして持って見ました。

その中で、大日本図書さんと教育出版さんのところに注目して見させていただきました。大日本図書さんはまとめとかチャレンジ問題も充実しています。今後への発展的なことをいろいろ捉えられていて、すごく魅力を感じた部分もありました。

教育出版さんは学習の進め方、最初に出ていると思うのですが、その勉強の進め方のところが今、国立で行っているものにずっと入りやすい部分がすごくあるなど。今現在も教育出版さんを使っているわけですが、その流れにとっては、すごく使いやすい部分があるなどということ。それから裏表紙のところに「安全の手引き」というのがあって、こればつと教科書ひっくり返せば全部わかるというのは非常にいいなということがありまして、これはいい工夫だなということがあります。この辺のところを見て教育出版さんでよろしいのではないかと思います。

○【是松教育長】 嵐山委員お願いします。

○【嵐山委員】 教育出版がいいと思います。養老孟司先生が出ているのがよかったです。

○【是松教育長】 では練木委員。

○【練木委員】 学校図書さんですけれども、学びのユニバーサルデザインということで、インクルーシブ教育とか、特別支援教育の対応はされているんですね。特にカラーユニバーサルの専門が入っていると聞きしております。それから3年生の音を伝えようというところでは、体験をもとにこれについて調べる活動は、比較的入りやすいかなと思いました。

教育出版さんのほうですけれども、理科の固有の見方といいますか、考え方については「話型」を使って、自分なりの視点、考え方を働かせると、そういった働きかけに取り組んでいるということ。それから理科のA区分、B区分ありますけれども、その区分についての単元の中で、色分けしているの、すごくその区分がわかりやすいというところも感じました。それから社会科でもお話ししましたが、学びのライン、問題解決の流れをラインで示しているというところも扱いやすいかななんて思いました。

審議会の審査とともに考えまして、教育出版を推薦したいと思います。

○【是松教育長】 猪熊委員、何かありますか。

○【猪熊委員】 私も大体教育出版さん推薦でいいかなと思っています。観察したときに必ず写真を撮ろうというコーナーを設けていて、自分がやったことを必ず記録しようということが子どもたちの中にもしみついているのかなと思いますので、教科書に必ずこういうことが載っているっていいかなと思いました。

あとは全体的に見て教育出版さんがいいかなと思ったのですけれども、すごく部分的なのですが、東京書籍さんの各学年に付録があって、6年生だと人体模型がくれたりとか、5年生では子宮の中の赤ちゃんの大きさが切り取って実感できる付録があったりとか、ここの付録はすごいなと思いました。以上です。

○【是松教育長】 教育出版ということですね。

○【猪熊委員】 はい。全体的には教育出版さんです。

○【是松教育長】 山口委員、どうぞ追加ありますか。

○【山口委員】 追加で。教育出版さん、私もそれを推奨したのですけれども、ちょっとだけ気になったことがあったのでそれだけつけ加えておきます。

6年生の一番最初の単元「ものの燃え方と空気」という単元のスタートのページのところに大きく写真が、キャンプファイヤーとかいろいろな、飯ごう炊さんの写真が載ってまして、ちょっと私もそちらのほうはいろいろやったので、どう見てもあの飯ごう炊さんが危険過ぎる状況で、さっき安全ということを書いて、実験ではないのですけれども、あれだけ危ない写真は正直言って飯ごう炊さんやっている人は誰もあんなやり方はしないと思います。私の個人的な意見ですが、からそれだけちょっと頭に入れておいて、教えていただきたいと思います。プラスアルファとしてつけ加えておきます。以上です。

○【是松教育長】 理科は自然の事物・事象について理解する教科でございます。その際、観察・実験を通して問題や見通しを見出し、予想・推論・仮説をもとに問題解決を行っていくというメソッドを身につけていくことが大切です。5社の中では教育出版が、問題から続いて観察・実験、そして結論のプロセスによる学習の進め方を適切に取り扱っていること。また発展的な内容も多いと思いましたので、私も教育出版がよいと思いました。

それでは山口委員から一部ご指摘がございましたが、皆さん教育出版ということですので、理科は教育出版を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○【是松教育長】 それで理科は教区出版を採択することといたします。

それでは続いて生活についてお願いいたします。

山口委員をお願いします。

○【山口委員】 生活は1年生、2年生、特に1年生が学校生活を始めるに当たって、学校での勉強というところのスタートのところ、学校ってどんなところだろうか、1年生になった生活は何かなみたいなことを考えるすごく重要な部分として、生活科というのが位置づけられているのかなと私は思っています。子どもたち自身の生活範囲が広がっていく中で、そういうところへの興味関心が広げられていくような部分がされていたらいいなと思って見ておりまして、全会社さん、全部で7社さんから、出していただいております。本当に工夫されて、特にいわゆるスタートカリキュラムと申しますか、そこら辺、意識をして次につないでいこうという部分をしっかり考えている。それから安全面に関しても、行動範囲が広がってきますから、安全面も配慮されてつくられているなということを感じました。

その中で推薦すると、東京書籍さんがいいかなと。使いやすく子どもたちもわくわく感が感じられるようになっていると思います。それから1冊目の最後のところポケット図鑑と申して、いろいろ切り取って使えるような工夫がされているようですけれども、有効であるのかなと思いました。以上、東京書籍さんがよいと思います。

○【是松教育長】 ほかにいかがですか。

繰木委員をお願いします。

○【繰木委員】 東京書籍株式会社さんですけれども、吹き出しの中から育てたい、育成すべき資質とか能力が見えてくるのですね。要するに具体的な授業を進める手がかりになるという点で、すぐれているかなと思いました。またこの学習で何ができるようになるのかなというそういうイメージが湧いて、指導計画をつくったり、教師側が学習評価したりする際に活用できるのではないかと感じました。

学校図書株式会社さんですけれども、大単元でまとまっているということで、活動がすごく、意義とかが明確になって、また長期的に、継続的に活動する。見通しを持って自分の変容を振り返ることができるような、そんな構成になっているように感じました。また各地域や学校の特色を生かした指導計画に柔軟に対応できるような、そういった弾力的な授業が行えるような工夫も感じました。

教育出版株式会社さんですけれども、わくわく感を感じると申しますか、絵本、仲よしの人でいることで始まる導入なんかもやっぱり生活科1年生、2年生といたしましても、1年生でまずスタートカリキュラムとの関連性もありますので、そういったところを意識した生活科。生活科を中心としたスタートカリキュラムというのですかね。そんな取り組みとしていい構成になっているかなと思いました。

審議会の結果等も踏まえまして、そういった各出版社工夫をされているのですけれども、総合的に東京書籍株式会社を推薦したいと思います。以上です。

○【是松教育長】 猪熊委員。

○【猪熊委員】 生活科の教科書ですが、総合的に見ると東京書籍さんがいいかなと思いました。A4判と大きい分、写真とか絵が見やすくなっていましたし、山口委員もおっしゃったのですが、「ほんとうのおおきさポケットずかん」というのがいいなと思いました。

あとの会社さんでは、結構動物を飼うみたいな、動物の飼育のところでは昆虫とかモルモットが多かったのですけれど、大日本図書さんはウサギになっていたのも、より大きな動物で、子どもたちが楽しい感じがあるかなと思いましたし、大日本図書さんはすごく表紙が既に触ってでこぼこしている感じ、とっても立派な表紙で、絵本みたいなきれいな表紙だったので子どもたちも楽しく生活科に入れるかなと思いましたし、またそれをあけても、裏側から穴を見ているみたいな感じで楽しい感じがとても良かったです。1年生から使うということで、楽しいもので入りやすいというのもいいのかなと思いました。

総合的には東京書籍さんを推薦いたします。以上です。

○【是松教育長】 嵐山委員、生活のほうはどうでしょう。

○【嵐山委員】 生活は啓林館「いきいきせいかつ」「わくわくせいかつ」、これがいいと思います。先ほどから、わくわく感という話が出ていますけれども、教科書は、子どもたちは教科書も読むけれども、そのほか図書館に行って本を読んだり、自分の好きないろいろなほかの本も読むけれども、教科書に求められるのはわくわくする、それに負けないようにいきいきするというものが生活に出てくるのがいいと思うのですよね。ですから「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」というクイズがある、いろいろなもの、イラストが出てきて、この啓林館のものがいいと思います。

ほかにもみんなそれぞれ、東京書籍はみんな「あたらしい」というのがつくのですよね。だから僕は、「あたらしい」というのは全部つけるというのは一つの編集方針だけれども「あたらしい」というのは果たして価値観なのかと、いつも考えているのです。僕は老人だからそういうことを考えるわけで、「新しいものもいいのだ」といえば「ああ、そうですか」と。小学生だと特に新しいものもいいのだといえば「そうですか」というけれど、「そうかな」ということをちょっと考えます。東京書籍はいい教科書をいっぱい出して、でもみんな「あたらしい」となると、一貫性をいいというところが会社の方針なのでしょうけれども、それに対する、もっと学科によってタイトル変えたらいいのではないかなと、僕も編集屋ですから、そういうことを考えたりします。

そういう意味ではこの生活では啓林館の「いきいきせいかつ」「わくわくせいかつ」上下、これをお薦めします。

○【是松教育長】 生活ですけれども1、2年生に学校、家庭、地域など自身の身の回りについて認識を深めさせて、生活に必要な習慣や技能を身につけさせていくというものです。またあわせて、自然や生き物とのふれあいの中で、情操を育てるという教科になっています。

こうした教科の教科書として、私は東京書籍がいいと思います。サイズが大きい、例によって大きいのですけれども、1、2年生の子どもたちが視覚的に興味・関心を引くつくりと、その分なっています。また例えば花の若芽、蕾、開花の比較などは大変よく工夫されていて、大変楽しくわかりやすいものとなっているとも感じました。そういった意味で私は東京書籍を採択したいと思います。

さて、嵐山委員を除いて4名の委員は東京書籍ということですので、多数決というわけではございませんが。

○【嵐山委員】 そういう意見になったということで、別に構いません。

○【是松教育長】 取りまとめという意味では、東京書籍ということによろしいでしょうか。

それでは生活は東京書籍を採択することといたします。

次に音楽についてに移ります。ご意見等ございましたらお願いいたします。

では山口委員。

○【山口委員】 音楽科は、多分昨年と同じですけれども2社さん。教育芸術社、あと教育出版さんが出していると思います。音楽、私はよくわからない部分があるのですが、楽しみ、親しみということと、音楽のよさを感じていただくなんていうのが味わえたらいいなと思います。

教育芸術社さんがいいと思うのです、今も使っておりますし、使いやすい部分があるのではないかと思います。のですけれども、最後の振り返りのページで学んだポイントがつかめるのかなということと、1年間のこれから何を勉強していくのかというのを見るページが出ていたりとかして、流れがわかるところがいいのかなと思います。

教育出版さんは透明シートとか工夫されている部分があって、あと音楽ランドのコーナーがあったりとかして、楽しい部分もおありになるのだけれども、全体として教育芸術社さんを推薦いたします。以上です。

○【是松教育長】 猪熊委員お願いします。

○【猪熊委員】 音楽の教科書ですが、自分が子どものころの音楽は歌ったり、演奏したりしているだけだった記憶しかなかったのですが、今回教科書を見てみると、音楽にできることとか、音の働きの役割について考えようというようなことが載っていて、学校でやる音楽の教科なのだということをととても感じました。

教育出版さんでは「音楽にできること」というのが「心を伝え、心をつなぐ」というところがあって、被災地に音楽を届ける活動とか、被災者の方が再び音楽で活動している様子などが伝えられていて、先ほどの社会科の教科と関連している感じがいたしました。山口委員もおっしゃったのですけれど、3年生のオーケストラのところ、透明シートがあってすごくオーケストラの成り立ちがわかりやすくなっているところが、とても子どもが興味を引きそうな感じがいたしました。

教育芸術社さんのほうは、6年生のところで「音の働きの役割について考えよう」というのがあって、ブラインドサッカーとか、パラリンピックのメダルが色によって音が違うというようなことが紹介されていて、来年行われるパラリンピックのときに、今回もこれ、私よく知らなくて、パラリンピックで定められているルールなのかどうかわからないのですけれど、観戦するときに知識として役立つのかなという感じもいたしました。

全体的に見て、教育芸術社さんのほうを推薦したいと思いました。以上です。

○【是松教育長】 それでは繰木委員。

○【繰木委員】 小学校の音楽は、音楽の専門の先生が教える音楽の授業と、それから1、2年生が多いのですけれども、担任の先生が教える音楽と2つに分かれるのですけれども、教科書は同じというところがあるのですね。ですから1、2年生の教科書を見る場合に、比較的担任の先生が指導するというのを考えて、いわゆる教えやすいかなということを考える。そういった場合に、1年生は楽しく音楽に入れるという意味では、やっぱり私は教育出版のほうを感じました。例えば「どんな歌があるかな」「音楽にあわせて歩こう」「歌にあわせて貨物列車になって遊ぼう」とか、子どもたちに音楽を自然に取り込む、そういう言葉かけで始まっているのですね。

教育芸術社のほうは「音楽にあわせて体を動かしましょう」「タン・タン・タンのリズムをしましょう」音楽的な用語から入っているということで、より専門的な入り方をしているということが教育芸術社のほうだと感じました。

両社とも、私もすごく大事にしたいなと思っているのが、音楽ってソロであっても1人で歌うわけではなくて伴奏者もいるし、さっき言ったオーケストラも全員でやりますし、人と人とでつくり上げていくものです。いわゆるコールとレスポンスというのがすごく大事だと思うのですね。ですから、そういったものを両社とも上手に扱っている。それはすぐれているなと思いました。それから演奏技術でいうと、リコーダーを使うのですけれども、サミングという親指をちょっとずらして音を高音にするという、そういう演奏方法があるのですけれども、そのサミングについての解説が芸術社のほうがわかりやすかったというところはあります。

全体的に捉えますと、1年生の担任が使う教科書としては教育出版のほうが使いやすいのではないのかなと、それから中学校へつないでいく、より専門性が高くなっていくための教科書としては、教育芸術社

かなと思って迷いましたが、審議会の結果等も交えて、今回は教育芸術社を私は推薦したいと思います。
以上です。

○【嵐山委員】 私も賛成。教育芸術。

○【是松教育長】 嵐山委員も教育芸術社ということで。

それでは音楽ですけれども、歌う、奏でる、聞くという音楽活動の楽しさを体験して、音楽が好きになること、また情操を豊かにするとともに、生活を明るく潤いのあるものにしていく教科でございます。

私も2社ともその点にはよく配慮された教科書となっていると思いました。強いてどちらかということになりますと、教育芸術社さんのほうが説明や写真に発達段階に応じた変化、工夫が凝らされているように感じましたので、私も教育芸術社にしたいと思います。

それでは音楽については皆さん教育芸術社を採択するというご意見でしたので、教育芸術社といたしますがよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○【是松教育長】 それで音楽は教育芸術社を採択することといたします。

続いて図画工作についてお願いいたします。

山口委員。

○【山口委員】 音楽、図画工作も、それぞれ子どもたちの情操のところをしっかりと育てていこうというところだと思うのですけれども、やはりそこが楽しく授業を受けられるものである。先生が気持ちを込めて授業ができるようなもの、それで子どもたちが豊かになっていく、心も豊かになっていくような授業であってほしいなと願っております。

全体として日本文教出版さんを推薦いたします。見やすく、使いやすく、子どもたちの顔とか表情、ざっと見た感じですが、楽しさとか真剣さが伝わってくるような雰囲気漂っているなというところを感じた部分でございます。以上です。

○【是松教育長】 嵐山委員お願いします。

○【嵐山委員】 日本文教出版の、欲しくなりました。教科書欲しくなるというのはあまりないので、やりたいなという意欲をすごく刺激し、欲しくなったほど好きな教科書です。ですから、日本文教出版の図画工作を推薦します。

○【是松教育長】 では猪熊委員。

○【猪熊委員】 図工の教科書では、開隆堂さんのほうでは、1、2年生で、紙には切り裂きやすい方向があるということを学習してから新聞紙で遊ぶという授業が書いてありましたので、学習の流れをととも感じました。

文教出版さんのほうでは5、6年生の教科書の下の方の終わりのころには6年間の集大成とする「思い出のあの場所に」「ドリームプロジェクト」「未来の私」など6年間お世話になった場所に思いを込めてディスプレイしたり、「こんなふうになったらいいかも」という提案を形にしたり、感謝とか夢がある題材が多く書かれていたので、すてきだなと思いました。

なので、日本文教出版さんを推薦したいと思います。

○【是松教育長】 繰木委員お願いします。

○【繰木委員】 日本文教出版の「ひらめきポケット」ですかね。それが新設されているのですけれども、やっぱり図画工作って、生活や社会の中で形や色とつながりを持って学んでいくところと、また学んだことを生活や社会に返していくということがありますのでそういった関連性とかに魅力を感じました。

開隆堂さんとても頑張っていますし、特にカラーユニバーサルデザインという考え方を取り入れているということもすばらしいと思うのですが、両社ともすばらしいのですが、それこそ審議会の意見を重く見まして、私も日本文教出版がいいのではないかと思います。

○【是松教育長】 図画工作ですけれども、描き、形づくるという表現活動と、人間の創作したものや、自然の中に存在する造形的な美にも触れる鑑賞活動を通して、喜びや癒しを感じて潤いのある豊かな生活を送っていくことを目指す教科だと思います。

この点、この2社ともよくできている教科書だと思いますが、開隆堂は有名な画家やアーティストの作品が適所に掲載されており、鑑賞指導にすぐれていると感じました。

一方、日本文教出版のほうですが、非常に斬新な見本作品の掲載が多いというのが特徴だと思います。創作活動に、子どもたちが意欲や関心を持たせるにはいい教科書だなと思いました。どちらに重きを置くかということになりますが、小学校の子どもたちですので、まずはいろいろなものをつくったり描いたりするという創作活動に重点を置くということで、私も日本文教出版かなと思っています。

それでは図画工作については、皆さん日本文教出版ということのようですので、日本文教出版を採択することでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○【是松教育長】 それで図画工作は日本文教出版を採択することといたします。

続いて家庭についてお願いします。

山口委員。

○【山口委員】 家庭科というのは基本的に人が生きていく、生活していく衣食住に関する基本的な部分の力をつけていくこととか、家庭とか社会とか消費とか環境まで含まれる、まさに根本的な、生活していくことの根本的なことかなということを感じているところがございますけれども、その中で、学んだことが実際生活に生かせるような内容であるといいなということと、持続可能な社会について思いをはせることができる、関心を持っていくことができることとか、それから生きていく上での安全に関しても、思いをはせることができるような内容であってほしいなというようなことを感じております。

両方の会社さんとも、2社さんですけど、本当に特に最後のほうに地域とのつながりとかに言及している部分がすごくいいなと。特に東京書籍さんは「あなたは家庭や地域の宝物」という、これは大切にしたい言葉かな。今、特に必要なかなというようなことを思うような言葉も書いていただいているのが、すごくいいなということを思いました。

両社さんとも甲乙つけがたい部分があるのですが、開隆堂さんのほうが「何で」とか基本的なポイントから始まってそのことのよさに気づいていたりとか、安全に関しては最初のほうのページに書いてあったりとか、全体として使いやすさがあるかなというようなことを感じたものですので、開隆堂さんを推奨いたします。以上です。

○【是松教育長】 どなたか。猪熊委員。

○【猪熊委員】 大体今、山口委員がおっしゃったこと私もほぼほぼ思っていたことになります。プラスして言わせていただくと、開隆堂さんのほうは物すごく細かいところで申しわけないのですが、QRコードでお料理しているところが映るようになってるので、例えば卵とか焼いて「ここで完成」みたいなことが口とか絵とかの説明ではなく、やっているものが流れるのでわかりやすいと思いました。そして、大体小学校だと6つぐらいの調理台のところで作ると思いますので、全ての児童が同じものを見て、同じようにつくることができるのかなと思いましたので、とてもわかりやすくいいかなと思いました。

なので、開隆堂さんを推薦したいと思います。

○【嵐山委員】 私も開隆堂です。

○【是松教育長】 練木委員お願いします。

○【練木委員】 家庭科も、専科の先生が教える家庭科と、担任が教える家庭科があるのですけれども、専科の先生の数というのは学校の規模によって決まってくるので、順番的に音楽・図工・理科・家庭科、音楽・図工・家庭科・理科となりますので、意外と家庭科の専門の先生がいる学校が少ないのですね。高学年の先生、一概には言えませんが、どちらかというと男性が多いと。男性の担任が教える家庭科が結構メインになってくるのですね。私もやったことがあるのですけれども、非常に苦しいございましたね。その中で、子どもたちと一緒に調理とか裁縫とか上手になるということはもちろん大事なのですが、やっぱり生活を見つめ直す。担任と子どもと一緒に生活を見つめ直して、その生活をよりよくするためには、技術があったほうがいいのではないかと、やっぱり家庭の中の協力があっていいのではないかと、そういうことを学ぶのが家庭科ではないかなと思うのですね。

そういうことを考えていくと、やっぱり編集方針の中に「主体的に考え、生活を工夫する」そういった問題解決を重視しているのだということがあったのですけれども、そういった考え方はすごく大事ななと思いました。そういった考え方とか、それから、とにかく男女で協力していく最も大事なツールとしての家庭科を、男性担任が多く教えるという学び、と色々なことを考えたり、それから審議会の意見等を鑑みまして、開隆堂さんがいいのではないかと思います。以上です。

○【是松教育長】 家庭は5、6年生の教科で、山口委員もおっしゃっていましたが、生活の基盤、基本となる日常の家庭生活の中での衣食住や、消費をより豊かに営んでいくという、資質や能力を身につけることを目的としています。2社のうち、東京書籍はまた例によってサイズが大きいのが特徴的ですが、今回ばかりはちょっと情報が多過ぎて、その分、写真・図面が小さくなって見づらくわかりづらいという点を感じました。

一方、開隆堂のほうは非常にコンパクトな作りではありますが、写真や図が大きくてわかりやすいという教科書になっています。子どもたちが日常生活についてのいろいろな知識をストレートに学んでいくには、開隆堂のほうがいいのかなと私も思いました。

それでは家庭については皆さん開隆堂ということですので、開隆堂を採択することよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○【是松教育長】 それで家庭は開隆堂を採択することといたします。

続いて体育・保健についてお願いします。

山口委員。

○【山口委員】 体育・保健になる部分ですが、私自身が注目したのは、子どもたち自身が、特に小学生の間、中学生になる前の心の中での、体も心も発達していく中で、さまざま変化が起こってきたりとか、いろいろな状況の変化の中での悩みがあったりとか、さまざまな部分が、特に今その点がすごく大事なかなということを思っで見させていただきました。

その中で、今も使っている教科書になるのですけれども、学研さんの教科書がわかりやすく書いてあるなど。いじめのことも含めて、さまざまな例、本当にいろいろな例が書いてあっていいなということと、あと自分自身、今、本当に小学生から必要だなと思うのですけれども、悩んだときにどうしたらいいのだろうといったときの、教科書を見てというだけではもちろんないのですけれども、そこに書いてあるとい

うことの方角性がすごく大事かなと思って、「ここへ連絡したらいいよ」「ここに相談があるよ」本当にたくさんあるのですけれども、そういうところが書いてあるというようなことも鑑みて、学研さんを推奨したいと思います。以上です。

○【是松教育長】 嵐山委員お願いします。

○【嵐山委員】 学研教育みらいの「みんなの保健」これがずば抜けていいと思います。これは学年に応じて知りたいことがすっきりとうまく書いてある。それからイラストや写真の使い方もうまい。そういういろいろな点で見て、学研教育みらいが一番すぐれていると思います。

○【是松教育長】 猪熊委員お願いします。

○【猪熊委員】 私も総合的に見て学研さんのものがいいかなと思いました。体の変化なども写真であらわしてわかりやすいかなと思いました。そして、今いろいろなことが低年齢化しているところがあり、小学生の保健の教科書でも、飲酒や喫煙を勧められたときの断り方とかが書かれていたり、この学研さんについては、薬物を勧められたときの断り方も書いてあって、いろいろなことが低年齢化しているだなどという感じもしたのですが、ちゃんと書かれているので、子どもたちの中にそういった覚えがあるといいのかなということをおもいました。

あとは光文書院さんも、スマホやタブレットの使い方なんか3、4年生から書かれていたり、歩きスマホの危険についても書かれていたので、現代的かなという感じはしたのですが、総合的には学研さんのほうを推薦したいと思います。

○【是松教育長】 繰木委員。

○【繰木委員】 健康になるためにはどうすればよいかということをお考えやすい教科書であるかどうかということの視点で見てみたのですが、学研教育みらいさんを見ていますと写真やイラスト、グラフなどがたくさん掲載されて、審議会の文の中にも書いてありましたけれども、そういったことを資料で確認したりとか、お考えやすいかなと思いました。やはり保健を通して生きる力を育ててほしいと思いますので、そういった子どもたちがわかりやすく、お考えやすく使える教科書ということで、学研教育みらいさんを推薦します。

○【是松教育長】 教科としては体育・保健となっていますけれども、体育の場合は実技指導を主に行ってまいりますので、教科書としてはいわゆる保健の分野についての記載が重要かなと私は思います。特に体の知識や健康と安全について、適切な指導ができるものがあると思います。

私も学研教育みらいが一番いいと思いました。何よりもまず体の変化、特に思春期の体の変化の記述が詳細であるということ、それからこれは山口委員もおっしゃっていましたが、不安や悩み、ストレスの対応という、精神保健について適切に触れた教科書であると思いましたので、学研教育みらいがいいと思います。

それでは全員、体育・保健については学研教育みらいということでございますので、体育・保健は学研教育みらいを採択するというところでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○【是松教育長】 それで体育・保健は学研教育みらいを採択することといたします。

続いて外国語についてお願いいたします。

山口委員。

○【山口委員】 多分これが一番、校長の皆さんも初めての部分になるのではないかなと思うのですが、私も初めて教科書として選ぶという立場で7社さんが出されております。審議会の先生方の意見聞いたの

ですけれども、ほかの教科の審議会と何となく報告が違って、結構分かれているというか、それぞれ違う感じ方が、この教科に関しては教え方の違いを感じられて、苦勞されているのだなというのはすごく感じた部分ですので、この教科書を使って来年から始まっていく部分ですけれども、初めは本当に手探りというのは子どもに怒られますけれども、工夫をしながら教えていくという部分がある中での教科書採択になるのかと思います。

その中で私は、やっぱり少なくとも英語に関して興味・関心を持ってもらうようにするようなことと、あと、先生方が研究して教えやすいと思われる教科書というようなことをポイントとして考えてみましたけれども、それぞれ考えて、各社さんともそれぞれ違いがあるような気がしながら、工夫をされてつくられているなというようなことを思いました。

その中で審議会の先生方も言われていたのですけれども、教育出版さんと光村さんのところをピックアップして考えてみました。教育出版さんは細かく楽しそうな感じで入りやすいのではないかなと思っていて、2年間それで学んでいく方向性があると。光村さんのは学習の流れがよくわかりやすい。情報量もちよっと多いのかなというようなことも言われているものもありましたけれども、どちらにしろ、あと東京書籍さんもいいなというお話があったのですが、これは大きい部分が、大きさがあるので、そのよさもあるのですけれども、ちよっと大変かなと思った部分があって、私としては教育出版さん、光村さん横並びなのですけれど、どちらかという、私の感覚的には光村さんのほうがいいかなと今思っているところでございます。

どちらにしろ、教科書をベースに先生方が授業をつくっていくための研究をしっかりといただくことが、特にこの教科は必要なのかなということを、改めて教科書を見ながら感じたところでございます。以上です。

○【是松教育長】 続いていかがでしょうか。猪熊委員。

○【猪熊委員】 来年度から5年生、6年生では教科としての外国語ということになるということで、私はどういふふうに教科書を見ていいのかわからなくて、それで国立市では使っていないのですけれど、中学生の教科書を見てみたら、トーキングという教科書と今回のこの小学校5、6年生の教科書のつくりが似ているなということを思いました。

審議会の報告のときにも、特に読むとか書くとかについて、特化している会社はなかったという報告を受けているので、やはり今までやってきた外国語活動をベースにした、スピーキングとかを中心にしたつくりなのかなということを思いながら見させていただきました。

それで、教育出版さんでは内容の中で、「はしのうえのおおかみ」これ多分道徳の教科書に出てくるお話で、とか「手紙」というお話で、これは多分国語の教科書に低学年で出てくるお話だと思うのですけれど、そういったお話の英文版のものが載っているの、子どもたちにはなじみやすい、「英語の表現だとなのだな」みたいなことがわかりやすい教材かなと思って見させていただきました。

あと光村図書さんは、QRコードの中で、チャンツも聞けるようになっていました。ほかの会社さんでもチャンツのコーナーがあるところもあったのですが、まだ、この段階では、それが入っていなかったの、聞くことできなかった会社さんのもありました。チャンツが入っていたので、教科書に載っていれば家でもできるかなという感じもありましたので、使いやすいのかなと思いました。

総合的に見ると、私は教育出版さんを推薦したいなと思いました。

○【是松教育長】 繰木委員。

○【繰木委員】 本当に各社英語の教科書作成に当たって、ご苦勞といういろいろな工夫をされて、本

当に頭が下がる思いでいるということをお伝えしたいと思います。新しい教科書ということで、また私達も新しい視点で見ているのですけれども、私は幾つかの会社をピックアップして、述べさせていただきます。

学校図書株式会社さんですけれども、ステップを踏んで内容がいつているということで、語彙の導入から聞く・話すを経て、読み書きに至る5ステップが、子どもたちが負担なく各このステップと、こういうことも細かく設定されているということ。それから「クラスルーム・イングリッシュ」というのがすごくわかりやすいということを感じました。

それから教育出版株式会社さんはやさしい活動から入って、バランスよく力を育んでいくということと、映像を見る活動から入って、順序を踏んで少しずつ発信していく活動、学校図書さんと似ているところもあるのですけれども、そういった工夫がすごくされているということ。それから1見開き目で1時間配当という、こういった使い勝手とか、あと何よりも豊富なアクティビティが、英語教育が盛んなところに行きますとやっぱり一番いいのは現地に行くこと、次には現地の人と接すること、次にはそういった場合にいろいろな自分が話せたりできたりとか、そういうアクティビティをして、体験をしていくことが大事だと言われてはいますが、そのアクティビティがすごく豊富だということを感じました。

それから光村さんはわかりやすく、使いやすくということを意識されていたりとか、それから世界をそれこそ視野に入れているという、そういったところ、それから教室で使う英語にも、16ページあたりにありましたか、そんなところも力を入れているということを感じました。

皆さん工夫をされているのですけれども、これも審議会の意見とあわせて考えて、私は教育出版を推薦したいと思います。以上です。

○【是松教育長】 嵐山委員、どうでしょう。

○【嵐山委員】 いろいろ大変でしたね。それぞれ、三省堂、難しいなとか、開隆堂結構頑張っているなとか、東京書籍はやっぱり雄だなどかいうのを見て、それぞれ検討しましたがけれど、いろいろ話し合っていくうちに、今まで出ましたけれどもアクティビティ、繰り返しのことを非常にこう、生徒がどれに反応するのか、生徒のレベルとか先生の使いやすさとか、いろいろなことによって変わってくるのでしょうか、このアクティビティの繰り返しをしっかりと使ってわかりやすく6年生のをしている、教育出版がいいのではないかと考えました。

○【是松教育長】 外国語は、教科書としては新しい教科書です。非常に悩ましい採択だなと私自身思いました。小学校3年生から6年生にかけて外国語といっても英語ですけれども、コミュニケーションの基礎となる聞く、話す、それから読む、書くまでを育成していくということで、3、4年生では教科書を用いずにコミュニケーション活動を通じて、聞き取ったり話したりすることで、外国語に親しむ指導を行うと。それから5、6年生になるとこれに読み、書きが加わって、教科書を活用した指導を展開していくということになっていくわけです。子どもたちが外国語により親しみ、英語を使いこなしていけることにつながる教科書であることが1つ大切なことと、特に小学校の場合は専科でない担任教員が、子どもたちに適切に指導できる教科書もあわせて考慮しなくてはいけないということになっています。その意味で現場の教員の意見を反映した審議会の報告内容を参酌しますと、他の委員もおっしゃられていましたように、教育出版か光村で意見が分かれ、あるいは東京書籍もどうかというようなところの3社の評価が高いと感じました。

私は教育出版は、どの単元も写真やイラストを掲載したクイズやゲームで占めておられて、そのために教科書の中に英文や構文の掲載が少なくなっているように感じています。また、チェックをつけたり線

で結んだりすることばかりが多くて、英語で書くという活動も少ないです。いわば3、4年生のコミュニケーション活動の延長という感じで、5、6年生での英文を読み、書くという指導が弱いように感じました。また他の教科書会社にはついてはいる各単元ごとのQRコードがついておりません。かわりにネット上に「学びリンク」が設定されていますが、これも見てみましたが、これも全単元がまとめられている関係で、少し使いづらさがありました。

それから、光村図書、東京書籍はともに聞く、話す、読む、書くの指導のバランスがとれてはいます。しかし光村はやはり5、6年生にはレベルの高い動詞や英文が多いと、これは審議会の意見の中にも入っていましたけれども、そのとおりだと思います。多く感じました。

東京書籍はその点、手ごろなところとなっておりまして、6年生で「中学校への扉を開けよう」があって、中学校への英語教育の接続を意識させるものとなっている点もよいところだと思います。

総合的に私は3社の中では東京書籍がいいなとは思いました。東京書籍はまた例によって教科書のサイズが大きくて、持ち帰って家庭学習をやるのにちょっとやりづらいなという、ここは相変わらず難点だなと思います。ただ各委員がおっしゃってありましたように、審議会の報告内容の中で最も肯定的意見の多いのは教育出版のようですので、調査研究会の先生方の中では、教育出版への期待が高いのかなとも思われます。

国立市では既に平成29年度から3、4年生と5、6年生の外国語活動を新学習指導要領に沿って前倒しで先行実施を始めました。そして平成30年度からは5、6年生は「Hi, Friends!」を活用した外国語活動と、新学習指導要領対応教材「We Can!」それから東京都の独立教材である「Welcome to Tokyo Elementary」を活用した読み書きの教科指導を含めて、70コマの外国語授業を完全前倒しで行ってきております。そうした中で、小学校教員の外国語の教科指導の実績も積み重ねられつつあると思います。その実践と蓄積に基づいた調査研究報告であったと信じておりますので、現場の意見を尊重するなら教育出版やむなしというところで、私も納得したいと思いました。

以上、山口委員、光村図書がどちらかといえばということですが、私含めて教育出版でいいのではないかという意見の委員がおいでの中で、教育出版でよろしいですか。

それでは外国語については教育出版を採択することでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○【是松教育長】 それでは外国語は教育出版を採択することといたします。

続いて、これが最後になりますが、特別の教科道徳についてをお願いいたします。

山口委員。

○【山口委員】 道徳の教科書採択、2年前に道徳だけを最初にやりまして、2年間たったというところで、まだそのことの感触が残っているところがございます。現教科書会社8社さん出していただいて、それぞれ細かく見比べたわけではないですけれども、それぞれの会社さん、基本的なところはそんなに変わらない気がしたのですけれども、細かな点の工夫は幾つもされて、今回教科書をつくられてきているご苦労があるなというようなことを感じたところがございます。

道徳というのは私なりに思う部分というのは、生きていくということに関して、しっかりその基盤をつくっていくことかなと思うのですけれども、人は皆違うのだ、でも一緒に生きていくのだ、違うことを認識できるのかな、人が言っていることをしっかり聞けるのかな、なぜ違うというのを考えることができるのか、それで、そのことを認めるというか、体で受けとめることができるのか、難しいですね。人が違うのだということベースにして、その人とともに歩んでいくことのすばらしさを感じ、これは小学校レベ

ルを超えるかもしれないですけども、そういうことかなというように。そういうのを通して「人って何だろうな」「人間は何なのかな」みたいなことがイメージができていくといいなと思いました。生きることに関心を感じてほしいなというのが心からの願いとして、道徳の教科書を見ながら思っていたところでございます。

私は前回、東京書籍さんを国立では採択して、今使っているところで、基本的には2年しかたっていないので、それを引き続き使っていくのがすごくいいのかなというのは、ベースとしては思うのですけれども、今回もう1回見させていただいて、光村図書さんを今回は推奨したいなと思います。東京書籍さんももちろんいいのですけれども、光村さん、国語で採択をしているのですけれども、文章がしっかりしているものを出していただいて。前回、長かったのを大分短くされているような気もしますけれども、まだほかと比べると同じ分、長いのかなというのがありますけれども、しっかりそこから読み取っていくことができればいいなというようなこととか、子どもの権利条約とか、世界人権宣言とかベースのところもしっかり載っていること、何より私が一番気に入っているのは全学年に書いてあったと思うのですけれども「みんな生きている みんなで生きていく」という言葉には、そのことは1つのメッセージかなと思っております。東京書籍さんは5年生、前回も載っていたのですけれども、ノンステップバスでの出来事を5年生の教材の中に、運転手さんの一言が、車椅子の方がバスに乗ってきて時間がかかるという教材になっているのですけれども、周りに迷惑だなと思う子もいるという状況の中で、運転手さんの一言で「バスに乗るのは当たり前だよ」と書いてあると。まさに国立市が宣言していることとイコールなのですけれども、まさにそのことはすごくいいなという部分はあります。東京書籍さん、前回ちょっとひっかかった部分が1つあったのですけれども、それは今回抜けておまして、よかったなと思ったのですけれども、今回新しく「星野君の二墨打」が載っておりまして、若干話題になっている部分もあるので、それが載り方として漫画になって載ってきたということで、全然料理の仕方が違うということで、ほか2社さんが載せているのとは感触が全然違うなと思った部分があるので、それを載せてこられた部分はちょっと感じた部分が、あるところがあります。

ただほかの教科もそうなのですけれども、全部含めて、道徳なんか特にその教材から何を受け取って、どうやって子どもと一緒に考えていくことができるかとかということで、同じ教材であっても、伝え方が全然違ってくる部分もあるし、子どもの考える、感じ取ることも違う部分があるので、そこら辺のところ、ある1つの答えが見つかるのではなくて、いろいろな答えがある、正解はないのだよというのが書いてあった部分もあったと思うのですけれども、それをベースにして考えていくと、それぞれにある教材をしっかり読み込んでいただいて、その対象の子どもたちに合った部分での教育内容にしていっていただくことがすごく重要なかなというようなことを思います。

東京書籍、光村両社なのですが、どちらかというとならぬ光村さんのほうを推奨したいと思います。以上です。

〇【是松教育長】 続いていかがでしょうか。

嵐山委員お願いします。

〇【嵐山委員】 それぞれいろいろあるのですが、東京書籍の道徳がいいなと思いました。「新しい」というのは私は嫌いなのですが。ただ道徳の場合は、道徳は状況によってどんどん変わるから、「新しい道徳」、道徳のほうも新しく変わっていくし、「新しい」というのが合うと思います。3年生の「桜どおり」というのは国立のさくら通りと思われる一帯が出てくる。大学通りの桜が古くなって倒れた、それを今、桜の枝をやってそれを一生懸命、もうだめになっちゃっているのもあるのですが。細かく言うとそこに書いてある以上に、もっといろいろな複雑な問題があるので、国立の施設に関係したさくら通りの話が

出てくるので、いろいろあるけれど東京書籍がいいのではないかなと思いました。

○【是松教育長】 いかがですか。猪熊委員。

○【猪熊委員】 私も、山口委員もおっしゃっていたのですが、まだ前回の採択から2年しか使っていないので、現行のものでいいのかなという思いがまずありました。それで、私は東京書籍と光村図書さんもいいかなと思って見させていただきました。

まず道徳の授業、1年生とか2年生とかもありますので、何となく自分が実際に体験したことがあるとか、体験しそうな題材のほうが授業に入りやすいのかなという感じはしていたので、そんな題材が多いほうがいいかなというところも読みながら見させていただきました。

それで、どれがどうというわけではないのですが、光村さんのほうは読んでいて内容がとてもよいものも多かったのですが、小学校だと45分の授業の中で、読んでさらに話し合っていくとなると、なかなか難しいかなという感じがいたしました。

東京書籍さんのほうは、情報モラルの話なども載せて、どこも載っているのですが、東京書籍さんのほうでは2、3年生では、お手紙の中で書いてはいけないことみたいなお話から、4年生になるとスマホやLINEでのゲームに夢中になっている長時間ユーザーの問題点とか、5年生ではオンラインゲームへの個人情報の掲載とか、6年生でスマホを持たせるかどうかというような話から、持たせたときのルールがどうかというところで、あと4年間教科書使っていくというところ、これがもう少し下がってくるのかなという感じもしないでもないのですが、実際にとても起きやすいようなことが掲載されていたので、全体的に見て東京書籍さんを推薦させていただこうかなと思いました。以上です。

○【是松教育長】 練木委員お願いします。

○【練木委員】 道徳のいわゆる4つの視点ということが言われているのですが、この4つの視点について各社とも、バランスよく取り扱っていただいているなということを感じました。

その中で、東京書籍株式会社さんのほうなのなのですが、いわゆる活動型の教材ということを感じますね。道徳はやっぱり考えたり議論したりすることがとても大事であって、そういったところをいわゆる読み物教材とは異なった、そういったものを取り入れているということ。特に4枚のイラストを使って子どもたちがみずからストーリーを組み立てていくという、そういう新しい活動なんかも1つのすばらしい方法かなと思っています。

やっぱりアクティブに議論させるということ促すという点で、道徳の教科書としては、私は東京書籍株式会社を推薦したいと思います。以上です。

○【是松教育長】 道徳の教科書は、平成29年度に現行教科書を採択したばかりであります。昨年度、平成30年度から使用を始めて、本年度やっと2年目に入ったばかりなところとなっております。今回は教科書会社も8社ですが、これも前回と変わらぬラインナップで、内容的にも極めて大きな変更はないように思われました。

やはり各社とも時代の流れに応じていくつかの掲載教材を変えています。当市が現行採択している東京書籍においても2年生から6年生の教科書において、1つもしくは2つの教材を入れかえています。例えば6年生では人とのつながりで、「車いすでの経験から」が「みんないっしょだよ～黒柳徹子」にかわっています。また、社会とのつながりでは「空きかんのゆくえ」が「星野君の二塁打」に変更されています。前回、東京書籍についてはそれなりの評価をし、採択を行ったものでございますが、私も前回の採択のときには東京書籍か光村かということで迷いました。2年間使ってみて、東京書籍について審議会等の評価が低く、また仮に光村の評価が高くなっているようでしたら躊躇なく光村にかえようと思っていたのです

けれども、今回の審議会報告でも東京書籍について特に問題となる指摘はなく、現場としては使い始めて、教材研究も進みつつある現行使用の道德教科書を続けて使用したいという意向も伝わってきています。こうした点を踏まえれば今回についても引き続いて東京書籍を採択することが妥当であるというふうに考えました。

ただし、今回新たに加わった「星野君の二壘打」につきましては、道德教材としての賛否が分かれているという実情があるものでございます。その点、一番気がかりとなったところでございますが、先ほど少し山口委員も説明しておりましたように東京書籍のこの教材は、同じ題名教材を掲載しているほかの2社とはちょっと異なっているなと思われました。1つは、一番特徴的なのは文章ではなくイラストでの表現となっており、この教材そのものは昭和22年につくられた物語の定本があるわけですがけれども、この物語定本に比べると、単純にルールに特化した極めて淡白な内容となっていること。また他社が表現している犠牲的精神を強いるような箇所はなく、チームのルールを守ることの意義についてを問う内容になっているということから、指導現場において、この教材の使用において懸念されている指導内容に十分配慮を行っていけば、ルールジレンマ等の視点からも子どもたちに主体的で対話的な考える道德教材として活用できると判断いたしましたところでございます。

したがって、私は道德教科書についてはこのまま東京書籍で採択をしたいと思えます。

山口委員の光村図書というのもありましたけれども、全体的に東京書籍という意見でまとめたと思いますがよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○【**是松教育長**】 それでは特別の教科道德については東京書籍を採択いたします。

それではこれで、小学校全教科の教科用図書の採択が終わりました。

それでは確認のために事務局からきょう採択しました教科書を読み上げ、確認をしていただきたいと思えます。三浦教育指導支援課長、お願いいたします。

○【**三浦教育指導支援課長**】 ご審議ありがとうございました。

では、ご採択いただきました教科書について確認をさせていただきます。国語、光村図書。国語の書写、光村図書。社会、教育出版。社会の地図、帝国書院。算数、東京書籍。理科、教育出版。生活、東京書籍。音楽、教育芸術社。図画工作、日本文教出版。家庭、開隆堂。体育の保健、学研教育みらい。外国語、教育出版。特別の教科道德、東京書籍。以上になります。

○【**是松教育長**】 ただいま、三浦教育指導支援課長から全教科について採択図書を読み上げていただきましたが、間違いはございませんでしょうか。

それではただいま三浦教育指導支援課長から読み上げられました図書を、議案第45号、令和2年度の国立市立小学校使用教科用図書として採択いたします。

以上のとおり、国立市立小学校における令和2年度から使用する教科用図書が採択されました。言うまでもなく、子どもたちの確かな学力、健やかな身体、豊かな心の育成は教科書の如何で決まるものではございません。教科書を活用して、子どもたちにとってわかりやすく楽しい授業や学習活動がいかに展開されるかという教師の指導力、授業力とあわさって育成されていくものでございます。小学校の先生方には引き続き新教科用図書の研究や関連教材の活用研究、そして授業研究に励まれますことを切にお願い申し上げます。

最後に本採択に当たって調査・研究に当たっていただきました教科用図書審議会並びに調査研究会の先生方のご尽力に厚く感謝申し上げますとともに、教科書採択にご意見、ご要望をお寄せいただきました保

護者や市民を初めとする多くの皆様に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

それでは、議事の進行上、ここで暫時休憩といたします。再開を3時40分としたいと思います。よろしくお願ひします。



○議題（3） 議案事項2 「令和2年度使用国立市立中学校教科用図書の採択について」

○【是松教育長】 それでは休憩を閉じて議事を続行いたします。

次に、議案第46号「令和2年度使用国立市立中学校教科用図書の採択について」を議題といたします。説明をお願いします。三浦教育指導支援課長。

○【三浦教育指導支援課長】 それでは、議案第46号「令和2年度使用国立市立中学校教科用図書の採択について」ご説明いたします。

本日は、地方教育行政の組織の運営に関する法律第21条第6号及び義務教育小学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項に基づき、令和2年度の1年間、国立市立中学校で使用する特別の教科道徳を除く各教科の教科用図書について、採択いただくことになります。

今回の採択については使用する期間が1年間ということもあり、国立市立学校教科書採択要綱第18項の規定に基づき、調査用資料は平成27年度に実施した調査資料を使用し、加えて現在使用している教科用図書についての意見書を教科用図書審議会に求め、教科用図書採択の資料といたしました。教科用図書審議会の審議結果につきましては、7月23日に開催されました教育委員会定例会において、教科用図書審議会委員長から机上に配付しました資料のとおり報告させていただいております。

なお、教科用図書審議会の、現在使用している教科用図書への意見については全ての教科で、別紙検証のとおり現在使用している教科書を継続するほうがよいという意見になっております。

説明は以上になります。ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

○【是松教育長】 ただいま教育指導支援課長からご説明をいただきました。

それでは審議に入りたいと思います。7月23日開催の定例教育委員会では、教科用図書審議会から今報告がありましたように、全ての教科で現在使用している教科書を継続する方向がよいと考えるという審議結果の報告を受けております。改めてご意見等ございますでしょうか。

山口委員。

○【山口委員】 7月の審議会からの報告のときにもして、現在使っている教科書でこのまま継続がよいということで、現在使っている教科書に支障はないかということも質問させていただいたのですが、特にはないということでしたので、この審議会の意見書どおり、現在使用している教科書を全教科継続していただくのがいいと思います。

○【是松教育長】 ほかにご意見いかがでしょうか。

○【嵐山委員】 賛成です。

○【是松教育長】 それでは皆さんご異議がないようですので、審議結果報告のとおり、全ての中学校教科書教科について、現在使用している教科書を継続採択するというところでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○【是松教育長】 それではそのように採択することといたします。

ここで確認のため事務局からただいま採択しました現行教科書について読み上げていただいて、確認していただきたいと思います。三浦教育指導支援課長お願いします。

○【三浦教育指導支援課長】 それではただいまご採択いただきました教科書についての確認をさせてい

たきます。国語、光村図書。国語の書写、東京書籍。社会、地理的分野、東京書籍。社会、歴史的分野、東京書籍。社会、公民的分野、東京書籍。社会の地図、帝国書院。数学、東京書籍。理科、大日本図書。音楽一般、教育芸術社。音楽器楽、教育芸術社。美術、開隆堂。保健体育、学研教育みらい。技術家庭、技術分野、東京書籍。技術家庭、家庭分野、東京書籍。外国語、光村図書。以上になります。

○【是松教育長】 ただいま採択図書を読み上げていただきました。よろしいでしょうか。

それではただいま教育指導支援課長から読み上げられました図書を、議案第 46 号令和 2 年度使用国立市立中学校教科用図書といたします。



○議題（４） 議案事項３ 「令和 2 年度使用国立市特別支援学級教科用図書の採択について」

○【是松教育長】 次に議案第 47 号「令和 2 年度使用国立市特別支援学級教科用図書の採択について」を議題といたします。三浦教育指導支援課長。

○【三浦教育指導支援課長】 それでは議案第 47 号「令和 2 年度使用国立市特別支援学級教科用図書の採択について」ご説明いたします。

地方教育行政の組織の運営に関する法律第 21 条第 6 号及び義務教育小学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条第 1 項に基づき、令和 2 年度に国立市立中学校の知的障害特別支援学級で使用する教科用図書の採択となります。

国立市特別支援学級教科用図書採択要綱に基づき設置されました教科用図書審議会の調査及び審議結果につきましては、7 月 23 日に開催されました教育委員会定例会において教科用図書審議会委員長から机上に配付しました資料のとおり報告させていただいております。

なお、中学校の特別の教科道徳を除く各教科の検定本につきましては資料の発行者名が空欄となっておりますが、先ほど議案 45 号及び議案 46 号で採択いただきました小中学校の教科用図書を使用することとなります。

説明は以上になります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○【是松教育長】 説明が終わりました。こちらも 7 月 23 日開催の定例教育委員会で教科用図書審議会から審議結果の報告を受けたところでございます。

改めてご意見等ございますでしょうか。

それでは皆さん、特にご意見ないようですので、採決に入らせていただきます。

ご異議がないようですので、審議結果どおり採択するということでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○【是松教育長】 それでは議案第 47 号「令和 2 年度使用国立市特別支援学級教科用図書の採択について」は審議会の審議結果報告のとおり採択をいたしました。

これで、本日の審議案件は全て終了いたしました。

なお次回の教育委員会は定例会を 8 月 27 日火曜日午後 2 時から、会場は教育委員室で開催することが決定しております。

以上をもちまして本日の臨時会を閉会いたします。

傍聴の皆様、お疲れさまでございました。

午後 3 時 4 7 分閉会